【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2007-238865(P2007-238865A)
【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)
【年通号数】公開・登録公報2007-036
【出願番号】特願2006-66144(P2006-66144)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　65/38　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　65/38

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月24日(2009.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
なお、重合終結時の重合液の形態は沈殿析出重合でない。
原料の供給及び酸素含有ガスの通気をやめ、重合混合物にエチレンジアミン四酢酸４ナトリウム塩（同仁化学研究所製試薬）の１０％水溶液を７．７ｇ添加し３０分間重合混合物を撹拌し、次いでハイドロキノン（和光純薬社製試薬）を少量ずつ添加し、スラリー状のポリフェニレンエーテルが白色となるまで撹拌を続けた。
反応器の内温は４０℃になるようコントロールした。
ポリマーはメタノールを添加して沈殿させ濾過したその後、濾残の湿潤ポリフェニレンエーテルにメタノールをふりかけ洗浄し湿潤ポリフェニレンエーテルを得た。次いで１４０℃で１５０分真空乾燥し乾燥ポリフェニレンエーテルを得た。
乾燥ポリフェニレンエーテルを用いて分子量の測定を行なった。結果を表１に示した。分子量分布は１個のピークを有するのみであり、ピークの分子量値をＭ３に示した。